

岡山県地方独立行政法人評価委員会（第7回）の議事録

- 1 日 時 平成20年3月28日（金）15：30～17：20
 2 場 所 岡山県庁3F第2会議室
 3 出席委員 末長委員長、江尻委員、小川委員、小池専門委員、黒田専門委員、中西専門委員
 4 議 事

- (1) 前回の議事録の確認について（大学関係・病院関係）
 (2) 評価の実施基準について
 ・公立大学法人岡山県立大学の業務の実績に関する評価の実施基準（案）
 ・地方独立行政法人岡山県精神科医療センターの業務の実績に関する評価の実施基準（案）
 (3) 今後の開催スケジュールについて
 (4) その他

(要 旨)

- 4 議 事
 (1) 前回の議事録の確認について（大学関係・病院関係）
 原案どおり承認された。
 (2) 評価の実施基準について
 資料により説明を行い、一部修正後、承認された。

委員発言要旨	事務局発言要旨
	<p>前回ご議論頂いた3つの主な論点につきまして、事務局の検討結果を示させていただきます。</p> <p>まず、第1点目の数字が一人歩きする危険があるため、数字での評価ではなく、アルファベットでの評価にしてはどうかということですが、業務の実施状況に関して、法人側から点数と併に記述式で報告がありますので、数字だけが一人歩きする危険はないと考えております。</p> <p>第2点目の評価にウエイトを付けてはどうかということですが、ウエイトを付ければ、項目の重要度を反映した総合評価ができ、国立大学のように複数の機関がある場合は、同じ土俵での比較ができるメリットがありますが、岡山県の場合は、中期計画の進捗状況を判断することが目的であり、大学と病院を比較することが目的ではありませんので、今回はウエイト付けを見送りたいと考えております。なお、特記的な事項については、記述を行いますので、項目の重要度を加味した評価を行って頂けると思います。</p> <p>第3点目の5段階評価ではなく、4段階評価にしてはどうかということですが、4段階評価は、評価の幅が狭くなるというデメリットがありますが、良いのか悪いのかがはっきりするというメリットがあり、先行県の状況も様々です。ただ、最小項目別評価に限って言えば、4段階評価の方が多い状況です。</p> <p>本日は、最小項目別評価につきまして、4段階評価と5段階評価の2案をお示しさせて頂いておりますので、この2案について、ご審議頂ければと思います。</p>

平均点を出そうとすれば、技術的に点数を付けないといけないので、アルファベットではなく、数字でいいだろう。

ウエイト付けは、本来あってもいいとは思いますが、初年度からウエイト付けの議論を行うのは難しく、現時点ではこれでいいだろう。

5段階評価にすれば、真ん中の点数の3点が付きやすいデメリットがあるので、現在は4段階評価が主流になっている。メリハリを付けるという意味で、4段階評価の方がいいのではないだろうか。

今回の実施基準は、パーマネントされたものなのか。今後変更される可能性は。

評価のやり方について、これが絶対だという確定したものはないが、5段階評価では、アンケート調査等でも3点が付きやすいので、良いのか悪いのかがはっきりする4段階評価にすることは一つの方法だろう。

最小項目別評価を4段階にし、大項目別評価を5段階にする理由は。

最小項目別評価は、年度計画をしっかりやったかどうか、明確に分かる4段階評価がいいだろう。

大項目別評価は、最小項目の平均点であり、総合評価をする際に分野別の進捗状況を見る際の参考にするものなので、5段階評価でいいだろう。

最小項目別評価は、できたかできないか、はっきり分かる4段階評価がいいだろう。

大項目別評価は、記述も含めて総合評価をするので、5段階評価でいいだろう。

目標を達成したか、改善できたかどうか明確になるのは、4段階評価だろう。極端に言えば、2段階評価でもいいくらいだ。また、これからの時代は、今までどおりのことをしていれば、生き残っていくことはできないので、何を改善すればいいのか、何にチャレンジしていくのか、そういった観点で計画を立てることが必要だろう。

必要に応じて、見直していく予定です。

評価の基本は、最小項目別評価なので、そこは4段階評価を行います。大項目別評価は、先行県でも5段階評価が多く、総合評価する際は、5段階評価が馴染みやすいと考えています。

改善に向けた計画を立て、それがしっかり実施できたかどうか評価していくのが、評価委員会の役割だろう。

4段階評価になった場合、何か問題はあるのか。

計画はそのままでも、4段階評価になった意味を考え、今後の業務運営を行ってほしい。

19年度計画に「～検討する」という表現が多い。「～改善する」「～実施する」という文言にした方がいいだろう。

具体的に何をどう変えていくかが重要だが、現在の計画は、変革に向けたものになっていない。

我々の発言が遅かったのかもしれないが、今後の課題だろう。

大項目別評価の評点の幅が0.5ポイントあるが、計画の実施状況がすぐに評点に現れるようにした方がいいのではないか。そのためには、評点の幅を狭める必要があると考える。

例えば、評点の⑤は、3.1以上。④は、2.7以上3.0以下。③は、2.3以上2.6以下。②は、1.9以上2.2以下。①は、1.8以下としてはどうか。

最小項目の平均点が大項目の評点になるので、たくさんある最小項目の点数が一つ、二つ変わっても、平均点にはあまり影響しない。評

○大学

19年度計画の実績報告について、ある程度作業は進んでいますが、4段階評価になったとしても問題ありません。

また、20年度計画については、理事会で既に了承されていますので、今から変更することは難しいと考えます。

○病院

19年度計画については、4段階評価になったとしても問題ありません。

20年度計画については、本日理事会を開催して、審議しているところです。体裁は今と同じ形を考えていますが、当方の役員からも「何をやりたいかはっきりした方がいい」という意見がありますので、どこを重点的にやっていくのか病院内ではっきりさせ、今後の業務運営を行っていきたいと思います。

点の幅を狭くすることで、年度ごとの大項目別の実施状況の動きが分かるようになった方がい
いだろう。

了解した。

ご提案の評点の幅に変更することとして、よろ
しいでしょうか。

(3) 今後の開催スケジュールについて
資料により説明を行った。

(4) その他
診療報酬の改定に伴う岡山県精神科医療センター中期計画の変更について、資料により説明を
行い、委員から特段の意見は出なかった。